

(別記第 4 号様式)

富津市パブリックコメント手続実施結果報告書

令和 7 年 3 月 2 8 日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	富津市こども計画（案）	
実 施 期 間	令和 7 年 2 月 2 2 日～令和 7 年 3 月 1 9 日	
意 見 の 件 数	3 件（個人 1 名、1 団体）	
意見の内容		意見に対する市の考え方
別紙のとおり		別紙のとおり

施策等の案についてのお問い合わせ先

富津市役所健康福祉部こども家庭課子育て支援係

住所：〒293-8506 富津市下飯野 2 4 4 3（市役所本庁舎 2 階）

電話：0 4 3 9－8 0－1 2 5 6 ファクシミリ：0 4 3 9－8 0－1 3 5 0

電子メール：info@city.futtsu.chiba.jp

意見 番号	意見の内容	該当 ページ	意見に対する市の考え方	対応状況
1	<p>病児保育について</p> <p>病児保育は必須のサービスだと思います。ないと仕事との両立が難しいです。病後児保育の段階ですでに普通の保育園で受け入れ可能なレベルのことが多いので、むしろ病児が必要です。小児科医がいないからという理由であれば、小児科医を対象とした移住促進、他何か医者と呼び込む方法はないのでしょうか。まだ対策をしていないのであれば、何か策を練る必要があると思います。上記の対策が出来ない、時間がかかる場合ですが、すぐ出来ることとして移住一般のことで、(都心で生活している人で移住をしたい人はおり、その中で医者を生業としている方ももちろんいるので)移住促進の担当部署のことにはなりますが、もっとおせっかいでもいいと思います。あと一押しで負けている(他の地域に移住検討者が行ってしまう)可能性もあると思います。私は環境や通勤面が大きな理由で富津に最終的に決めましたが、フレンドリーさやサポートの柔軟性は富津より良いところがありました。移住する人は本当になにも分からず不安です。移住の検討から完了まで手を離さない、何かあればサポート頂けるという安心感をもっと持ってもらうと全体的な移住者が増えると思います。私は正直途中からとても不安でしたが、何とか移住を完了することができました。特に佐貫町から南の人口が少ない地域は情報がなく移住するにあたって非常に不安で、安心できるまで自分で調べるにも都会のパーパードライバーたちには特にハードルが高いです。しかしとても都会の自然にあこがれる人には魅力だらけの地域です。是非多くの医者を含む移住検討者を呼び込むことに力を入れていただくのも一つの方法ではないでしょうか。</p>	—	<p>病児保育につきましては、仕事と育児の両立を支援する方策として、その必要性を認識しております。病気の急性期にあるお子さんをお預かりする事業であることから、医師の常駐が望ましいと考えられるため、医師会などの関係機関との連携について検討してまいります。</p> <p>移住促進につきましては、移住を検討する方への丁寧なご案内や各種補助金の交付などを実施し、医療従事者の方にも興味を持っていただけるよう、担当部署と連携し、富津市の魅力を発信してまいります。</p>	原案どおり (修正なし)

意見 番号	意見の内容	該当 ページ	意見に対する市の考え方	対応状況
2	<p>幼児教育・保育等の質の確保及び向上(4-8-4)</p> <p>こども主体の保育の導入はどこまで出来ているのでしょうか。公立の園ではできているが私立は出来ていない、認定こども園や幼稚園は出来ていないなどあるのでしょうか。私の知っている限りでは出来ていない施設もあると感じています。先生とこども主体の保育について話すことがあったのですが、こども主体の保育を自由保育でハチャメチャになる、児童数の都合で出来ないものであるなど、否定的にとらえていると見受けられるコメントがありました。保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領は改定されてから何年もたっています。これは 4-8-4 に記載のアドバイザーが園長先生をはじめとする全先生方へアドバイスをすることで改善できると思うので、まだであればなるべく早い対応をお願いできればと思います。こども主体の保育は一人の先生だけが意識を変えたのではなくなかなか難しく、園全体で行うことが非常に有効と理解しています。保育士が少ないという理由で全国的には難しいと言われることもあるこども主体の保育ですが、逆に子供が少ない富津の地域でこそチャレンジしやすいことではないでしょうか。こども主体の保育ができている園が多くなれば、移住希望者の親御さんに富津がこども主体の保育ができていることをアピールすることで、特にこどもの教育に熱心な方々を惹きつけることができると思います。以上、パブリックコメントとして提出させていただきますが、今後の対策などで特に移住者視点での追加コメント必要であればお気軽にご連絡ください。宜しくお願い致します。</p>	67	<p>現在、各保育施設において、子どもの主体性を育む保育に取り組んでいるところですが、更なる推進を目指し、千葉県のアドバイザー制度の活用など、必要に応じて方策を検討してまいります。</p> <p>なお、各保育施設においては、それぞれ特色ある教育・保育を展開しております。一例を挙げますと、公立保育所におきましては、自然環境や地域資源を活かした保育に取り組んでおり、全ての保育所が千葉県の自然環境保育認証制度に認証されております。引き続き、子どもの健全な発育のため、教育・保育の質の向上を図ってまいります。</p> <p>また、教育・保育の質の向上には、保育人材の確保が不可欠であるため、私立保育園等への各種補助金交付の継続的实施や、公立保育所の再配置、保育士養成修学資金貸付制度の実施などにより、市全体の保育人材確保に向けた施策についても取り組んでまいります。</p>	原案どおり (修正なし)

意見 番号	意見の内容	該当 ページ	意見に対する市の考え方	対応状況
3	<p>天羽小学校 5 年生からのご意見</p> <p>このような「こども、若者が中心となる、市の計画」を考えていただき、うれしいです。私たちが大切にされていることを実感しました。やさしい版は、親しみやすい挿絵があり、読み仮名をふっていて読みやすかったです。このようにパブリックコメントとして、子どもにも意見を求めていることもいいなと思いました。私たちこどもの意見を聞く機会を多く持ってくれることで、この計画が実際に実現していくのだと感じました。</p> <p>富津市は予算がきびしいという話を聞いたことがあります。その中で、私たちの考えていることは実現が難しいことかもしれませんが、富津市の天羽地区に住んでいる小学5年生の目線で、どうしたら私たちがより幸せに暮らせるかを考えました。お願いばかりではなく、自分たちもできることがあればしていきたいと思っています。</p>	—	<p>富津市こども計画(案)をみなさんに見ていただいたこと、富津市の取組について興味を持ってくれたことがとてもうれしいです。</p> <p>今回のパブリックコメントをはじめ、こども・若者のみなさんの意見を聴く機会を作る取組を進めていきます。</p> <p>みなさんが考えていることを一つでも多く実現できるように、意見をいただいたみなさんを始め、みなさんを支えてくれる家族、地域の方と協力して、こどもたちが笑顔になれるまちを目指して、いろいろな取組を行っていきます。</p>	原案どおり (修正なし)